

2024 年春季講演会「若手交流会」実施報告



日本地下水学会 若手支援・男女共同参画 (YEPS) 委員会

榊原 厚一*1

新谷 毅*2

2024 年 5 月 25 日 (土) 11:30~12:30 に若手交流会 (対面のみ) を開催しました。本交流会は 2024 年春季講演会のお昼休みに実施し、若手を中心に 23 名を超える方々に参加いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の若手交流会では、地下水学に関わる若手研究者である綿貫翔様 (サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社 水科学研究所) と吉原直志様 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所) より、「若手世代のキャリアパス・職場の雰囲気・ワークライフバランス」をテーマに話題提供いただきました。

綿貫様は、博士課程への進学、建設コンサルタントとしての業務、民間企業の研究業務など、多種多様な経験をされ、地下水学に関わる広い分野で活躍されております。それぞれの状況に応じて判断されたそのときの思いが、終始ひしひしと伝わってくる講演でした。悔いなく、前向きに、笑って生涯を終えられるか? 自己理解の上で自身のキャリアの形成を考えよう! この言葉を聞き、参加者の多くの方は、自身はどうか? と自問自答したのではないのでしょうか。吉原様は、修士卒研究職という採用枠で産業技術総合研究所に入所され、アグレッシブに研究成果を出し続けておられます。昨今でも稀と思われる修士課程卒業から研究者へのキャリア形成とそのパスを紹介いただきました。キャリア形成の多様性の拡大は、少子化に伴う若手数減少という難題がある中で、若手自らが自身の道を開拓するためにとってもプラスになるものと思われまます。本会が若手の皆様が今後のキャリアを考えるきっかけとなったなら、とてもうれしく思います。



写真 1. 綿貫様ご講演の様子



写真 2. 吉原様ご講演の様子

*1 信州大学 *2 産業技術総合研究所

アンケート集計結果報告

若手交流会後に実施したアンケートの集計結果を図 1 に示しています。その結果を見ると、学生、技術者、研究者の方がほぼ同じ割合で参加くださったようです。当日、会場を見渡すと、これからキャリアを考えていくであろう若手の方が多くいらっしゃるのことが分かりました。若手交流会の内容では、参加者全員から、“とても良かった”、“良かった”、“有意義だった”との回答を得ることができました。良かったと回答した理由として、“講演者の本音ベースのお話が聞けた”、“自身のキャリア形成にプラスになる学術講演会では聞けない貴重な内容だった”、“自分の軸とは何か考えてみようと思った”などを挙げていただきました。また、次回以降には、若手の学会に対する思いや意見をより多く知りたい、若手に加えて中堅以降の方の率直なお話を聞きたい、他学会の若手会とのコラボレーション企画を期待したい、等のご意見をいただきました。今後の YEPS 委員会主催のイベントとして検討して参りたいと思います。さらに、参加者の半分以上がこれまで複数回参加いただいております。ほとんどの参加者から今後も参加したいというポジティブなご意見をいただきました。しかしながら、情報源の半数以上が上司・知人からの紹介であったため、情報の発信方法は改善の余地があると思われました。引き続き多方面から情報発信をし、多くの方へ周知したいと思えます。

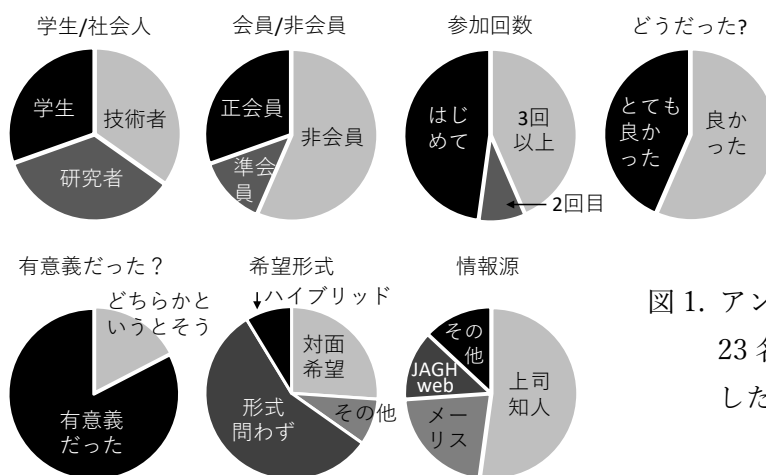


図 1. アンケートの集計結果
23 名からの回答がありました (*回収率>90%).

おわりに

若手が育たなければ、その組織の将来は暗いものとなる、という言葉を多方面から耳にします。これは、少子化による若手人材数の減少が根底にある課題と思われていますが、このような時代だからこそ、若手が自ら意見を主張し、組織に働きかける場の形成が強く求められると考えます。地下水学会 YEPS 委員会として、若手の育成・支援の一役を今後も担っていきたいと考えています。ご意見・ご要望などがございましたら是非下記までご連絡ください。

連絡先 (地下水学会 YEPS 委員会) : yeips@jagh.jp